

沖縄には石敢當(沖縄では「いし

がんじつ)、本土では「せきがんじつ」、

中国では「シーガンタン」が多い。道

路わき、門や住家の入口など、あち

こちにあむ。中国伝来の魔よけであ

るが、その由来について最も的確に

解説しているのは『辭源』(北京商務

印書館)である。その大意は次の通り。

(財)沖縄協会会長

小玉 正任

沖縄には石敢當(沖縄では「いし

がんじつ)、本土では「せきがんじつ」、

中国では「シーガンタン」が多い。道

路わき、門や住家の入口など、あち

こちにあむ。中国伝来の魔よけであ

るが、その由来について最も的確に

解説しているのは『辭源』(北京商務

印書館)である。その大意は次の通り。

石敢當は唐宋以来、住民の家の門口、

市街地や村里の入口に不祥を禁じ

するため、立てる石碑で「石敢當」と刻

る。前漢の『史游』の撰

『急就篇』(B.C.四十年)に「石敢當」

が記載されている。五代晋の勇士説

は全く成りたたないのである。



由来

石敢當は実在した人物名で、石敢當は実在した人物名ではない。石敢當とは当たる所、敵がないという意である。

宋の王象之の撰『輿地紀勝』(一一七七年)に「石敢當」が記載され、宋の成化四年(1468年)、福建省莆田県で唐の大曆五年(770年)造立銘のある石敢當碑が発見された。

また、宋の施清臣の撰『輿耕錄』(1044年)によれば、宋の慶曆四年(1044年)、福建省莆田県で唐の大曆五年(770年)造立銘のある石敢當碑が発見された。



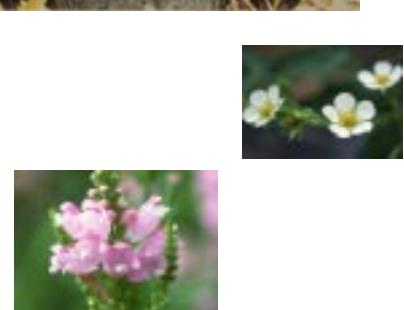
宮崎県えびの市の石敢當



石垣市の石敢當



国際通りの石敢當



や明の陶宗儀の撰『輿耕錄』(1044年)によれば、石敢當と彫った碑を立てて厭禳(まじない)で悪魔を押え、災害を除き払いするのを『急就篇』に記載している。

わが国最古の石敢當。「元禄二天己巳(1689年)」の銘あり。宮崎県えびの市にある。高さ百十一cmの凝灰岩。えびの市指定民俗文化財。

